

公開講座の開設主旨・目的等

神戸大学深江キャンパスは大正6(1917)年9月に設立が認可された私立川崎商船学校に端を発し、平成29(2017)年には、この深江の地で始まった海技者教育が100年を迎えます。
昨年の公開講座では神戸の開港と日本の船員教育の一翼を担ってきた私立川崎商船学校から神戸高等商船学校、更に神戸商船大学の開学から現在に至る沿革やトピックスを話題に開講しました。
後編の今回は、神戸商船大学と神戸大学の統合、大学統合後の沿革、更には平成27年10月に神戸大学で始動した海洋底探査センターにおける最新研究などについて3人の講師陣により開講します。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	12月9日(土)	13:00~14:00	① 海に開かれた総合大学を目指して —神戸大学と神戸商船大学の統合—	原 潔 (神戸商船大学名誉教授・元商船大学長)
2		14:05~15:05	② Quo Vadis, 海事科学部？ —海技者養成教育と卓越研究大学—	小田 啓二(神戸大学 副学長・元海事科学部長)
3		15:10~16:20	③ 深江丸の挑戦 —巨大カルデラ噴火の予測に向けて—	巽 好幸 (神戸大学海洋底探査センター長・教授)

連絡先

神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
TEL・FAX : 078-431-3564(月・水・金の13時~17時のみ)
E-mail : siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp
※メールアドレスの一部(ac.jpの前など)には、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されています。
メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。